

加西市総合計画【後期基本計画】

まちづくりに関するアンケート結果（フリー記述）

01 子育て支援

1 意見の件数

いただいた意見は 96 件 でした。

2 主な意見

1	子育て支援の充実要望	<ul style="list-style-type: none">● 子育て環境の整備をもっと充実させてほしい● 給付金や子育て相談など支援を活発にしてほしい● 学童の無償化や制度拡充が必要	25 件
2	子育て関連施設の整備	<ul style="list-style-type: none">● 子供が自由に遊べる施設を増やしてほしい● 暑い日でも安心して遊べる室内施設が必要● 児童館や公民館の充実を図ってほしい	21 件
3	経済的支援（費用負担の軽減）	<ul style="list-style-type: none">● 給食費や保育料の無償化を続けてほしい● 保育料無料化だけでなく、学童保育も無償化してほしい● 高校生以上の支援にもっと力を入れるべき	17 件
4	働きやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none">● 産後も働きやすい環境を整えてほしい● 育休中も安心して預けられる社会にしてほしい● 保育士不足を解消し、保育の質を向上させてほしい	13 件
5	子供の発達・教育支援の充実	<ul style="list-style-type: none">● 個別の支援計画をもっと充実させるべき● 学校のカリキュラムを改善して子供に優しい教育環境を● 放課後の居場所づくりや放課後等デイサービスを充実してほしい	10 件
6	子育てに関する情報発信	<ul style="list-style-type: none">● LINE などデジタルツールで子育て情報を効率的に伝えてほしい● 市民向けに支援制度をもっと広く知らせるべき● 情報共有が進むことで子育てが安心になる	5 件
7	保育の待機児童問題	<ul style="list-style-type: none">● 保育料の無料化は良いが、待機児童問題を解消してほしい● 無料化より先に保育所の空き状況を改善するべき● 兄弟が別々の場所に通う問題への対応を	3 件
8	市外交流や移住促進	<ul style="list-style-type: none">● 子育て支援を強化し、移住者を増やしてほしい● 企業との協力で子育て支援を含めた移住政策を	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～29歳）

子供の遊び場やイベントを求める意見が多い。「子供が安心して遊べる場所の整備」や「親子向けの娯楽施設」に関心が強い。

▶ 中年層（30歳～49歳）

経済的支援や学童無償化、仕事と育児の両立支援について多数意見。「働きながら子育てしやすい環境」の要望が目立つ。

▶ 高年層（50歳以上）

無償化政策への評価が一部見られるが、「不要な無償化への疑問」や「公平性への懸念」の声も。また、子供や若年層の減少対策への提案も散見。

（性別による意見の違い）

▶ 全体として男女差は目立たず、いずれも経済的支援や施設整備、働きやすい環境に関する意見が中心。ただし、保育士不足や育休関連の意見は女性回答者に多かった。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 経済支援の継続

子育て世代に大きな支持を集めている無償化政策を維持しつつ、市民間の公平性についても再検討する。

▶ 施設整備と活用

子供たちが安全に遊び学べる施設を増やすとともに、既存施設を活用して効率的な運営を目指す。

（市に求められる取組）

1. 子育て施設整備の充実

- 夏でも安全な室内遊び場の設置や児童館の拡充。
- 子供や保護者が集える複合施設の計画。

2. 待機児童問題の解消

- 無償化よりも先に、保育施設の空き状況の改善と新規施設の計画。

3. 子育て支援情報の発信強化

- SNSやLINEなどを駆使した効率的な情報促進。
- 若年層にアピールする情報提供で支援内容の認知を広げる。

01-2 人口対策

1 意見の件数

いただいた意見は 87 件 でした。

2 主な意見

1	若者の流出防止・定住促進の強化	<ul style="list-style-type: none">● 若者が加西市に戻ってくるようなまちづくりをしてほしい● 若者向けの商業施設や交通整備を充実させてほしい● 大学卒業後、地元に戻りたいと思える政策が必要	22 件
2	インフラや交通の整備	<ul style="list-style-type: none">● 北条鉄道など交通機関の利便性を改善してほしい● 通勤しやすい環境整備が必要● 電子決済が導入されていない公共交通を近代化してほしい	18 件
3	子育て・教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none">● 本当に子育てしやすい環境をつくるべき● 学校や学びの場を充実させて子育て世代が住みやすいまちにしてほしい● 放課後安全に過ごせる居場所を増やしてほしい	15 件
4	移住促進の支援・戦略	<ul style="list-style-type: none">● 移住者向けに魅力的な土地や住宅政策を進めてほしい● 空き家問題に取り組み、移住者を増やすための環境を整備● 若者世代や子育て世代に魅力的な移住政策を	12 件
5	出会い・結婚支援	<ul style="list-style-type: none">● 若者の出会いの場を作るイベントを増やしてほしい● 婚活事業に力を入れてほしい● 結婚出産につながる施策を検討してほしい	8 件
6	若年世代への政策の重点化	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者支援だけでなく、若者に焦点を当てた政策を進めてほしい● 市の未来を担う若者が定住するための具体的施策を検討● 高齢者との配分を考えながら若者にも手厚い政策を	6 件
7	商業施設や産業の活性化	<ul style="list-style-type: none">● 若者が休日を楽しめるような商業施設を増やしてほしい● 地域で働ける職場を増やせる企業誘致を行ってほしい● 産業活性化により地域の人口流入を目指すべき	4 件
8	高齢者との共存・3世代居住の推進	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が子供の見守りをしている点をアピール● 3 世代同居を促進しながら若者が住みやすい環境を整えるべき	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～39歳）

若者向けの政策（交通整備や商業施設の充実、移住の支援など）に対する意見が目立つ。「加西市で子育てや生活したいと思える環境がほしい」という声が多かった。

▶ 中年層（40歳～59歳）

出会いの場や婚活支援に関する意見が多く、「地域の人口増加のため若者の結婚を支援」といった視点が強い。また、インフラ整備について具体的な改善案を求める意見も散見。

▶ 高年層（60歳以上）

「人口減少を前提とした市政運営」の提案や、「高齢者が安心して住めるまちづくり」との共存を提案する声が多い。ただし、若者政策への支持もある。

（性別による意見の違い）

- ▶ 男女差は少ないものの、女性回答者には「子育て環境の充実」や「交通機関の利便性向上」についての具体的な要求が多く見られた。男性回答者は「商業施設の活性化」や「企業誘致」など経済重視の意見が目立つ傾向。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 人口流出防止から人口増加促進へ

若者や子育て世代が「住みたい」「戻りたい」と思える環境整備を中心に、市外からの移住も目指す人口対策が必要。

▶ 利便性の改善と地域活性化

交通やインフラ整備を重点的に進め、市民の日常生活だけでなく、観光産業や地域の活気にもつながる政策が求められる。

（市に求められる取組）

1. 若者の定住促進のための環境整備

- 交通機関の利便性向上（運行頻度増加、電子決済導入など）。
- 若者向けの商業施設（娯楽施設を含む）の拡充。

2. 移住支援の強化

- 空き家の活用と移住促進政策の広報。
- 若者や子育て世代をターゲットにした移住促進キャンペーン。

3. 婚活や子育て支援の拡充

- 結婚出産につながるイベントや支援事業を展開。
- 保育・教育の充実、放課後の居場所づくりを進める。

4. 高齢者との共存を目指す3世代居住政策

- 高齢者を支える若者世代を繋ぐ施策検討（介護支援と子育て支援の融合）。
- 地域コミュニティの強化と活性化を目指したプログラム。

02 学校教育

1 意見の件数

いただいた意見は 74 件 でした。

2 主な意見

1	学校統合と小中一貫校推進	<ul style="list-style-type: none">● 小中一貫校にするべきだと思う● 学校の統合について現在の校舎を利用した小中一貫校への移行を検討すべき● 小中統廃合に向けて地域の魅力を引き出す教育を進めるべき	13 件
2	学校設備や教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none">● 体育館に空調設備を整備してほしい● 学校のインターネット整備が不十分● 教育に力を入れた環境整備をもっと進めてほしい	12 件
3	給食の質向上・無償化	<ul style="list-style-type: none">● 給食を無償化してほしい● 子どもの心身発達を考えたオーガニック給食の導入を検討してほしい● 残食意識の低下を防ぐために少額徴収も並行して検討すべき	9 件
4	不登校児童の支援	<ul style="list-style-type: none">● 「登校拒否の児童が増加しているため対応が急務● 不登校児童向けの施設を増設してほしい● 学校教育において不登校児童のケアを充実させてほしい	8 件
5	高校・大学誘致と進学支援	<ul style="list-style-type: none">● 「加西市内に大学を誘致してほしい● 公共交通や定期代補助で高校生の通学負担を軽減● 北条高校の活性化を進め市外から生徒を呼び込む仕組みが必要	8 件
6	部活動や課外活動の充実	<ul style="list-style-type: none">● 部活動を充実化してほしい● スポーツや芸術に特化した教育の場を作るべき● 若者がチャレンジできる環境を教育活動にも広げるべき	7 件
7	教師の質向上・教育人材の育成	<ul style="list-style-type: none">● 教師の質向上と増員の施策を進めるべき● 教師が多忙な状況を分業制で改善してほしい● 経験値の高い人材を教育現場に取り入れるべき	6 件
8	子育て世帯へのサポート	<ul style="list-style-type: none">● 子育て世帯への移住促進政策をさらに充実させるべき● 子育てしやすい環境整備が必要● 教育支援策を他市に負けないレベルで進めてほしい	6 件
9	地域と連携した特化型教育の推進	<ul style="list-style-type: none">● 市内全域で稲作を必修化し給食で活用する教育を進めるべき● 地域と連携したオルタナティブ教育の場を創るべき● 農業と教育を結びつけることで市の魅力を発展させる政策を検討	3 件
10	徒歩や交通の安全確保	<ul style="list-style-type: none">● 徒歩通学の負担が大きいためスクールバスを充実させてほしい● 子どもたちが安全に通学できる道路や自転車道路の整備が必要	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

➤ 若年層（19歳以下～39歳）

「部活動の充実」「高校・大学の誘致」「スクールバスや交通改善」が主な意見。実際に教育環境の問題を感じている層から具体的な希望や要望が寄せられている傾向。

➤ 中年層（40歳～59歳）

「不登校児童支援」「教育設備の改善」「子育て支援」の声が目立つ。現場で子育てをサポートする親世代として、教育充実を支援に結びつける提案が多い。

➤ 高年層（60歳以上～70歳以上）

経験に基づいた長期的な視点から「小中一貫校推進」「教師の質向上」が主な意見。時代に合わせた学校運営の重要性が強調される。

（性別による意見の違い）

➤ 女性からは、給食の質や内容、子育て支援に関する意見が多く寄せられた。

➤ 男性は、高校や大学誘致、教育環境整備など具体的な経済的施策提案が中心。

4 まとめ

（市政の方向性）

➤ 「学校教育」を基盤にした市の発展を目指し、地域と子育て世代が安心して暮らせる環境整備を優先すべき。将来的には、小中一貫校の推進や大学の誘致による地域活性化を目指す。

（市に求められる取組）

1. 学校設備の充実

- 体育館空調整備、インターネット環境改善など具体的な項目を迅速に進める。

2. 子育て支援策の強化

- 給食無償化と質向上を両立する施策、親世代に寄り添った支援策の充実。

3. 大学誘致と高校活性化

- 地域外からの高校生誘致を進める公共交通政策。
- 学生を育て地域活性化につながる大学誘致を具体化。

4. 不登校支援の強化

- 不登校児童向けの施設やプログラムの拡充、カウンセリング体制強化。

03 社会教育、文化・スポーツ

1 意見の件数

いただいた意見は 24 件 でした。

2 主な意見

1	伝統文化・祭りの継承	<ul style="list-style-type: none">● 伝統的な祭りを維持するための制度を作るべき● 播州北条節句祭りを SNS やテレビで発信して文化を継承する● 狂言などを塾を立ち上げて伝統文化として継承することが大切だと思う	5 件
2	スポーツ施設の改善・充実	<ul style="list-style-type: none">● アクアス加西の地面のトゲを除去してほしい● 総合運動公園に市民のニーズに合った施設を整備してほしい● 公共のジムやプール施設を作してほしい	5 件
3	図書館・自習スペースの充実	<ul style="list-style-type: none">● 図書館の学習スペースが足りないため、拡充してほしい● 加西市の図書館の書籍の充実が必要	4 件
4	公共文化施設の拡充	<ul style="list-style-type: none">● 加西市にコンサートホールを作してほしい● 版画など芸術が盛んな町作りを目指すべき● 市民が交流できる公民館や集まりの場所を充実してほしい	3 件
5	スポーツ・芸術活動の推進	<ul style="list-style-type: none">● スポーツや書道は盛んだが、音楽や美術をもっと盛んにしてほしい● 大規模なマラソン大会を開催してほしい● スポーツ施設予約が取りやすい環境を作してほしい	3 件
6	交通アクセスと移動手段の改善	<ul style="list-style-type: none">● 市民の団体活動時に移動手段（バスなど）が欲しい● 交通アクセスを工夫し、健康を維持するための社会環境を整えてほしい	2 件
7	若者育成と地域活性化	<ul style="list-style-type: none">● 地域の伝統行事を継承する若者が育つ環境を作るべき● 若者が社会に貢献できる場を作る	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

➤ 若年層（19歳以下）

「図書館の自習スペース拡充」「スポーツ施設改善」が主な意見。学習環境や実生活の問題点について具体的なニーズが挙げられた。

➤ 中年層（30～59歳）

「伝統文化の継承」「公共施設の充実」に関する意見が中心。地域活性化と家庭生活を関連づけた発想が特徴的。

➤ 高齢層（60歳以上）

「健康維持に役立つスポーツ施設の整備」「伝統文化の継承」が目立つ。長期的な地域発展に根付いた提案が多い。

（性別による意見の違い）

➤ 女性：「図書館自習スペースの拡充」「子どもが利用する施設の改善」に具体的な言及が目立つ。

➤ 男性：「スポーツ施設整備」「伝統文化の維持」に重点を置く傾向がある。

4 まとめ

（市政の方向性）

➤ 加西市の学校教育領域では、子どもの学習環境改善や地域文化の継承が優先的な課題に挙がっている。また、施設整備やスポーツ・芸術活動の推進を通じて地域の魅力向上を図るべきである。

（市に求められる取組）

1. 学習環境の拡充

- 図書館の学習スペース拡大や自習用施設の整備を進めるべき。

2. スポーツ施設の改善

- 地域住民が安全かつ快適に利用できるグラウンドやプール設置を検討。

3. 伝統文化と若者育成

- 祭りや文化行事に若者が参加する仕組みを作り、地域文化を次世代に継承する。

4. 公共文化施設の充実

- 市の魅力を高めるコンサートホールや芸術活動の場の整備。

04 福祉

1 意見の件数

いただいた意見は 65 件 でした。

2 主な意見

1	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none">● 免許返納後の生活（交通・買い物）に不安が多い● 高齢者向けのデイサービスや施設を充実させて欲しい● 高齢者が安心して暮らせる町にしてほしい	20 件
2	高齢者の交通手段整備	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が運転免許を返納した後、移動手段が困る● 公共交通機関を充実させて高齢者が事故を防ぎ、安全に外出できる環境を整えて欲しい	15 件
3	障害者支援の強化	<ul style="list-style-type: none">● 障害者の働く場所を増やして欲しい● 障害のある子育て世帯への支援を拡充して欲しい● 障害者が健康に働ける環境を整備してほしい	11 件
4	子育て家庭への支援	<ul style="list-style-type: none">● 共働き世帯をもっと手厚く支援して欲しい● 子どもを育てやすい町にして欲しい● 子育て支援学校卒業後の居場所が足りない	8 件
5	孤立老人への支援	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が孤立せず地域とのつながりを持てる環境を整えて欲しい● 1人暮らしの老人に対する訪問支援を強化してほしい● 高齢者の孤独予防対策が必要	6 件
6	自然環境を生かした地域活性化	<ul style="list-style-type: none">● 田舎ならではの魅力を活かして町を活性化して欲しい● 自然の豊かさを楽しめるオートキャンプ場の整備● 観光資源として農業や自然環境を活かす取り組みを進めて欲しい	5 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（20～39歳）

子育て支援や障害者支援に関する意見が中心。働きながら子育てができる環境の整備に強い関心がある。

▶ 中年層（40～59歳）

高齢者福祉や障害者を支える仕組みの拡充を求める意見が目立つ。

▶ 高齢層（60歳以上）

免許返納後の生活の不安や孤立を防ぐ支援の充実を求める意見が多数。

（性別による意見の違い）

▶ 女性: 高齢者福祉に対する具体的な施策の要望や、子育て家庭支援に重点がある。女性特有の視点で「コミュニティの孤立防止」を重視。

▶ 男性: 全体的に「障害者福祉」や「地域活性化」の意見が目立つ。男性は働く環境や交通インフラ整備にも関心を持つ傾向がある。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 加西市が抱える課題として、「高齢化」「障害者支援不足」「移動手段の不便さ」という問題が浮かび上がった。市政は、これらの課題を優先順位として設定し、住民全体が安心して暮らせる持続可能な町づくりを目指す必要がある。

（市に求められる取組）

1. 高齢者福祉の充実

- 高齢者デイサービスや福祉拠点の増設。
- 一人暮らしの高齢者を訪問する相談機能の整備。

2. 交通インフラの改善

- 高齢者や障害者が利用しやすい公共交通システムを導入。
- 買い物や病院へのアクセスを容易にする移動支援サービス。

3. 障害者支援の強化

- 障害者が働ける場所や環境の整備。
- 障害者が必要な支援を受けられる公平なシステムを整備。

4. 地域活性化

- 自然を活かした観光資源を開発し、地域の魅力を向上。
- 地域コミュニティのつながりを強化し、孤立を防ぐ仕組みの構築。

04-2 健康・医療

1 意見の件数

いただいた意見は 70 件 でした。

2 主な意見

1	医療体制の充実と診療科目の不足	<ul style="list-style-type: none">● 産婦人科や小児科医を常時確保してほしい● 加西市には産科がないため、不便で子育てが大変● 質の高い医師を確保し、診療科目を充実させる必要がある	22 件
2	医師・人材確保	<ul style="list-style-type: none">● 市民病院の建設だけでなく、医師の確保を優先してほしい● 医師の確保ができないと機能不全に陥る● 各診療科の医師を充実させ、安全で便利な医療を提供してほしい	15 件
3	出産施設の不足・産婦人科設置	<ul style="list-style-type: none">● 子供が産める産婦人科を整えてほしい● 妊娠中の病院通いが遠方のため負担が大きい● 子育て支援として産婦人科や婦人科を整備することが必要	12 件
4	子育て世代への医療支援	<ul style="list-style-type: none">● 親子で受診できる医療施設がほしい● 小児科が少なく、対応が不十分● 子育て支援と医療体制の拡充が必要	10 件
5	高齢者医療の充実	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が安心して通院できる環境を作るべき● 地域医療と介護サービスの充実が必要● 長距離移動せず医療が受けられる仕組みを整えてほしい	8 件
6	医療施設への具体的な要望	<ul style="list-style-type: none">● 皮膚科や耳鼻科を増やしてほしい● 外国人向けの医療通訳サービスが必要● 開業医院の増設を促進してほしい	3 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～39歳）：

「産婦人科や子育て支援の医療施設の整備」に関する意見が中心。出産や育児環境の改善に向けた具体的な要望が多数見られました。

▶ 中高年層（40～59歳）

「医師の確保と診療科目の充実」に加え、「高齢者医療」の重要性を指摘する意見が多い。

▶ 高齢層（60歳以上）

医療施設の存続や「緊急時の医療対応」の確保を求める意見が主流。老後の医療環境への不安が多く挙げられていました。

（性別による意見の違い）

▶ 女性: 「産婦人科の必要性」や「育児中親子で利用できる医療施設」に対する具体的な要望が多数。出産・育児と医療を関連付けた視点が目立つ。

▶ 男性: 「医師の確保」や「医療体制全体の充実」を重視する意見が多かった。子育て環境よりも医療サービス全般の改善を求める傾向がありました。

4 まとめ

（市政の方向性）

- ▶ 地域医療の充実を優先課題とし、医師や医療人材の確保を最も重要な目標に据えるべき。
- ▶ 出産環境や子育て支援の医療体制を拡張し、若い世代の定住を促進。
- ▶ 高齢者が安心して通える医療環境を整備。

（市に求められる取組）

1. 医療体制の強化

- 市民病院の診療科目を充実させる。（産婦人科・小児科の設置を優先）
- 緊急時対応可能な診療体制の構築。

2. 医師・人材の確保

- 全国から優秀な医師を誘致するための施策を検討。
- 医療従事者向けの福利厚生を充実させ、地域医療従事者の定着を促進。

3. 子育て世代への医療支援

- 親子で利用できる医療施設を増設。
- 子育て中の市民に遠方医療の負担を軽減する支援を提供。

4. 高齢者医療の拡充

- 高齢者が利用しやすい医療施設の配置。
- 地域医療と介護サービスを一体化し、持続可能な高齢医療体制を構築。

05 農業

1 意見の件数

いただいた意見は 45 件 でした。

2 主な意見

1	農業人口の減少と後継者不足への対応	<ul style="list-style-type: none">● 農業の後継者探しを支援し、農業人口を増やしてほしい● 高齢化による農地の保全が困難になっている。具体的な手放す方法を教えてほしい	10 件
2	地産地消と農業を活かした地域活性化	<ul style="list-style-type: none">● 加西市の農業を活かしてカフェや道の駅を作り、地域を活性化してほしい● 地産地消の推進に取り組み、フードロスを減らしてほしい	9 件
3	農地維持と管理問題	<ul style="list-style-type: none">● 草刈りや溝掃除など農地管理の負担を軽減する政策が必要● 休耕田が増加しているので行政で耕地整理を進めてほしい	8 件
4	農業政策と補助制度	<ul style="list-style-type: none">● 若者が農業で生計を立てられるよう補助制度を充実してほしい● 農業を支援する施策をもっと明確にしてほしい。農業振興区域の改善が必要	7 件
5	農業の魅力向上と教育	<ul style="list-style-type: none">● 農業の魅力を発信し、若者の関心を集めてほしい● 加西市の魅力である農業を大切にす都市を目指してほしい	6 件
6	自然環境を守る農業施策	<ul style="list-style-type: none">● 農業を守りながら自然環境を壊さない政策を進めてほしい● 温暖化によるコメ不足のリスクに備えた農業政策を考えてほしい	5 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

➤ 若年層（19歳以下～39歳）

地産地消や農業を活かした地域活性化、農業の魅力を向上させる意見が多い。若者にとって農業を新たな産業や地域の特色として捉える視点が目立つ。

➤ 中年層（40歳～59歳）

農業政策や補助制度に関する意見が多く、「農業で生計を立てる」現実的な視点での提案が見られる。

➤ 高齢層（60歳以上）

農地維持や管理問題に関して切実な意見が多い。また、農業人口の減少の危機を感じ、具体的な対策を求める意見が目立つ。

（性別による意見の違い）

➤ 男性：農業人口減少への対応や農地維持に関する意見が多い。現実的な管理面や効率化に関する視点が強い。

➤ 女性：地産地消や地域活性化に関する意見が多く、農業によるコミュニティへの影響や地域の魅力に注目している。

4 まとめ

（市政の方向性）

➤ 農業分野の意見からは、以下の課題が浮かび上がった：

- ・ 農業人口の減少と後継者不足による長期的な危機。
- ・ 農地管理の負担増加や休耕田の増加。
- ・ 地産地消を軸とした地域活性化の可能性。

➤ 加西市が、農業を基盤とした形で発展するには、従来の農業のあり方に加え、新しい魅力や効率化を取り入れて持続可能な農業を実現する必要がある。

（市に求められる取組）

1. 後継者不足への対応：

- ・ 農業後継者を育成するプログラムや、若者向けの農業イベントを開催し、農業の魅力を発信。

2. 農地管理の効率化：

- ・ 農地維持にかかる負担を軽減する補助制度の導入。
- ・ 行政による耕地整理や、放棄された農地への活用施策を展開。

3. 地産地消と地域活性化：

- ・ 農産物を活かしたカフェ、マルシェなど地域の特色を活かした施設の設置。
- ・ 農業と観光を組み合わせた体験型イベント（農業体験・グランピングなど）の導入。

4. 若者が定住できるまちづくり：

- ・ 農業を取り入れた新しい形態の生産者モデル（サラリーマン農業など）を提案。
- ・ 高齢者が継続的に農地を活用できる仕組み作り。

06 産業・雇用

1 意見の件数

いただいた意見は 65 件 でした。

2 主な意見

1	大企業の誘致と雇用 創出	<ul style="list-style-type: none">● 若者が希望を持って働ける魅力ある企業を誘致してほしい● 大企業の工場や研究所を誘致し、若者の流出を防ぐべき	18 件
2	若者の働き先不足	<ul style="list-style-type: none">● 地元の企業が若者の流出を止められるようにする政策を進めてほしい● 都会で大学生活を送った後、地元魅力的な働き場所がなく戻れない問題を解決してほしい	12 件
3	工業団地の活用とバ ランスある産業発展	<ul style="list-style-type: none">● 工業団地を単なる倉庫ではなく、製品製造や研究開発企業に活用してほしい● 農業と工業をバランスよく発展させる施策が必要	10 件
4	女性や子育て世帯向 けの働きやすい環境 作り	<ul style="list-style-type: none">● 子育てママが働けるように、短時間勤務や土日休みの職場を増やしてほしい● 女性がプチ就業でも働ける環境を整えてほしい	9 件
5	商業施設の誘致	<ul style="list-style-type: none">● 大型ショッピングモールやコストコの誘致を進めてほしい● 地域の活力を高めるため、商業施設を魅力的にし、働く場所や観光を充実させてほしい	8 件
6	起業支援と産業政策	<ul style="list-style-type: none">● 若者がスタートアップできる支援を充実させてほしい● 地元企業が持続できる環境を行政が支援してほしい	5 件
7	高齢者の働きやすい 環境	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が安心して短時間でも働ける環境を提案してほしい● 年金だけで生活が難しい。高齢者向けの雇用対策も必要	3 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- ▶ 若年層（19歳以下～39歳）：
大企業の誘致や起業支援に関する意見が多い。都会での大学生活後に戻れない理由として、働き場所の不足を挙げる意見も目立つ。
- ▶ 中年層（40歳～59歳）
工業団地の利活用や女性の働きやすい環境づくりに具体的な意見が多い。
- ▶ 高齢層（60歳以上～70歳以上）
高齢者が短時間で働ける環境や年金生活の厳しさについての意見が中心。

（性別による意見の違い）

- ▶ 男性：大企業誘致や工業団地の活用に関する意見が多い。地域全体の発展や産業政策全般への提案が中心。
- ▶ 女性：働きやすい環境づくり、とりわけ子育て世帯や女性向けの雇用環境に関する意見が目立つ。

4 まとめ

（市政の方向性）

- ▶ 「産業・雇用」の分野に関する市民の意見からは以下の課題が浮き彫りとなりました：
 - ・若者の働き場所不足による市外流出。
 - ・女性や子育て世帯、高齢者が安心して働ける環境の不足。
 - ・大企業誘致の停滞や工業団地の利活用不足。
- ▶ 加西市が未来へと発展するためには、産業政策を地域の人口構造や特性を考慮した形で推進し、多様な層が働ける町づくりが重要です。

（市に求められる取組）

1. 大企業誘致と雇用創出：
 - ・加西市特有の災害リスクの低さやアクセスの良さを活かし、大企業の本社機能や製造拠点の誘致を進める。
 - ・若者が魅力を感じる働き場所を提供し、市外流出を防ぐ。
2. 多様な働き方の推進：
 - ・女性や子育て世帯向けに短時間勤務や土日休みが取りやすい職場を増やす。
 - ・高齢者向けに短時間就労や地域起業支援を充実。
3. 商業施設と観光活性化の連携：
 - ・ショッピングモールや商業施設の誘致を進め、地域活性化と雇用創出を同時に実現。
4. スタートアップ支援：
 - ・若者や個人が起業しやすい環境を作り、新たな産業を地域に取り込む。

07 観光・関係人口

1 意見の件数

いただいた意見は 42 件 でした。

2 主な意見

1	自然を活かした観光資源の整備	<ul style="list-style-type: none">● 自然を利用した大型施設や遊び場を作り、市外から遊びに来てもらえるようにすべき● 気球やキャンプ場などが加西市の特色になる施設として整備希望	11 件
2	新しい観光施設の誘致・開発	<ul style="list-style-type: none">● 星野リゾート的な宿泊施設を建設し旅行客誘致を進めてほしい● 道の駅（空の駅）を増やし観光拠点を設けてほしい	8 件
3	既存観光施設の PR 強化	<ul style="list-style-type: none">● 「うずらの飛行場跡の宣伝活動をもっと効果的にすべき」● 「加西市特有の観光地の PR を県外に向けて強化してほしい」	7 件
4	地域行事やイベント運営改善	<ul style="list-style-type: none">● 祭りの花火の時間を小さな子どもや大人に配慮して変更してほしい● 市外からも人が集まるよう加西市独自のイベントを増やしてほしい	6 件
5	歴史・文化観光の推進	<ul style="list-style-type: none">● 戦跡やお寺を観光地化し、歴史と平和を伝える拠点を作ってほしい● 加西市独自の文化遺産や特産品を生かした観光イベントの開催を希望	5 件
6	移住人口の拡大を目指す観光振興	<ul style="list-style-type: none">● 魅力ある観光施設を作れば、移住したい若者や関係人口が増えると思う● 観光誘致を通じて市民の流出を防ぎ他県からの移住人口を増加させるべき	3 件
7	地域固有の特色を活かしたアイデア提案	<ul style="list-style-type: none">● ポケモンマンホール（ポケフタ）の誘致で地域の特色を観光資源にしたらい● “気球の飛ぶ街”としてのブランド強化や観光施設の整備を提案	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- ▶ 若年層（19歳以下～39歳）
 - ・ポケフタの誘致や遊び場の整備に関する「若者視点の観光資源開発」への関心が高い。
 - ・「目玉になるものが必要」という意見が多く、目新しい観光資源への期待が目立つ。
- ▶ 中年層（40歳～59歳）
 - ・自然や歴史的資源を活かし、観光面と地域整備の両立を求める意見が中心。
 - ・既存イベントの運営改善や観光資源に対する具体的なアイデア提案が多い。
- ▶ 高齢層（60歳以上～70歳以上）
 - ・地域文化や戦跡、既存資源を活かしてPRを強化する意見が目立つ。観光を通じた「平和の発信」にも期待を寄せる。

（性別による意見の違い）

- ▶ 男性：新しい観光施設の誘致やイベント運営改善を注視する意見が多い。実用的な施設整備や戦跡活用への提案が中心。
- ▶ 女性：自然を活かした観光資源や、子ども連れに配慮した観光施設・イベント改善の意見が多い。

4 まとめ

（市政の方向性）

「観光・関係人口」分野において、市民が求める方向性は以下の通りです：

- ▶ 観光資源の整備と活用
自然、歴史、文化的な資源を活かし、市外からの観光客を呼び込む施設や体験型の観光資源を整備すること。
- ▶ イベント・行事による地域活性化
地域独自の魅力を活かしたイベントや既存行事の改善を通じて、訪問者を増やす取り組み。

（市に求められる取組）

1. 新規観光施設の誘致・整備
 - ・ 宿泊施設や道の駅など、地域の観光の拠点となる施設の誘致を進める。
 - ・ 「自然を楽しむ」観光施設（キャンプ場や農業体験など）を整備。
2. 地域資源の有効活用と発信
 - ・ 歴史的スポットや文化遺産の観光地化を進める。
 - ・ 戦跡を活用した平和公園の計画を検討。地域の特色ある取り組みとしてPR強化。
3. 市外観光客をターゲットにした広報活動
 - ・ 加西市独自の観光ブランド（気球、フラワーセンターなど）の発信を、SNSや全国的なメディアで対応する。
4. 地域活性化と移住促進の結び付き
 - ・ 観光資源を「移住のきっかけづくり」に活用。観光と定住を結びつける施策を展開。

08 防犯・防災

1 意見の件数

いただいた意見は 27 件 でした。

2 主な意見

1	街灯の増設・照明改善	<ul style="list-style-type: none">● もっと街灯を増やしてほしい。夜中暗すぎて怖い● 北条町近辺は明るいが集落の暗いところを改善してほしい	6 件
2	防犯カメラ設置	<ul style="list-style-type: none">● 防犯カメラの設置を増やしてほしい● 市内の治安維持のため防犯カメラを充実させてほしい	5 件
3	災害時のペット対策の整備	<ul style="list-style-type: none">● 災害時にペットも家族として扱う制度を整えてほしい● ペットにも優しい加西市を考えてください	4 件
4	地域の治安維持と防犯強化	<ul style="list-style-type: none">● 外国人が増えているので治安維持に注力してほしい● 違法改造車や交通取り締まりを進めて安全な街づくりにしてほしい	4 件
5	地域行事の防災・治安意識向上	<ul style="list-style-type: none">● 地域で詐欺や空き巣を防ぐ取り組みを協力したい● 地域のコミュニティが治安維持に役立つと思います	3 件
6	学校や避難所の防災体制強化	<ul style="list-style-type: none">● 地域の学校がなくなると災害時の避難所が心配です● 災害に強い町づくりが必要です	3 件
7	防災・治水インフラの整備	<ul style="list-style-type: none">● 川に溜まった草や土砂を防災の観点から整備してほしい● 自然災害に備えて災害対策を進めてほしい	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- 若年層（19歳以下～39歳）
 - ・街灯増設や防犯カメラ設置について「夜間の安全性向上」を求める意見が多い。
 - ・防犯強化や通学の安全対策への期待が見られる。
- 中年層（40歳～59歳）
 - ・防犯・治安維持に関する具体的提案（外国人労働者との調整、交通取り締まり）が中心。
 - ・子どもや家族全体が安心して過ごせる環境整備への意見に焦点。
- 高齢層（60歳以上～70歳以上）
 - ・災害時の避難所や防災対策、地域の人々の見守りを重視する意見が多い。
 - ・ペット対策や防災インフラ整備に関する意見も目立つ。

（性別による意見の違い）

- 男性：治安対策やインフラ整備（交通取り締まり、防犯カメラ）について実用的な対策の提案が多い。
- 女性：子どもや家族、ペットが安心して暮らせる環境づくりへの意見が多く、生活面の安全性に関心。

4 まとめ

（市政の方向性）

「防犯・防災」分野で市民が求める方向性は以下の通りです：

- 防犯対策の強化
街灯の増設、防犯カメラの充実を通じて夜間や治安悪化への不安を軽減すること。
- 災害対策の充実
災害時の避難体制を整え、ペットへの対応や防災インフラ（川の整備など）の見直しを行うこと。

（市に求められる取組）

1. 街灯の増設
 - ・夜間の安全性向上のため、暗い地域に街灯を設置。地域に関する安全点検を行う。
2. 防犯カメラの設置増加
 - ・市内全域にわたり防犯カメラを増設し、治安維持のための「見える化」対策を進める。
3. 災害時のペット対応政策の立案
 - ・ペットも家族とみなした避難所運営や制度改革を全国モデルとして導入。
4. 地域コミュニティの治安・防災強化
 - ・地域行事で防犯意識を高める啓発活動や人々同士の見守り活動を誘導。

09 都市計画・まちづくり

1 意見の件数

いただいた意見は 127 件 でした。

2 主な意見

1	娯楽施設の増設	<ul style="list-style-type: none">● 映画館やカラオケが欲しい● ラウンドワンのような施設を作ってほしい● 若者が楽しいと思える場所を作ってほしい	28 件
2	飲食店や商業施設の誘致	<ul style="list-style-type: none">● もっと飲食店を増やしてほしい● GU やユニクロなど服飾系店舗を誘致してほしい● 西松屋など子育て世帯向け店舗が欲しい	22 件
3	地域間の格差解消	<ul style="list-style-type: none">● 北条地区以外にも力を入れてほしい● 市の端の地域にも魅力的な施設を作るべき● 郊外にもスーパーや病院を増やしてほしい	18 件
4	土地活用・空き家の対策強化	<ul style="list-style-type: none">● 空き家・空き土地を有効活用してほしい● 廃校を地域の施設に転用してほしい	15 件
5	交通インフラの整備	<ul style="list-style-type: none">● 道路を整備してほしい● 公共交通をより便利にしてほしい	14 件
6	住宅整備と住環境向上	<ul style="list-style-type: none">● 賃貸住宅が少ないので増やしてほしい● 農地を宅地変更して住宅を建てやすい環境を整備してほしい	12 件
7	コンパクトシティの推進	<ul style="list-style-type: none">● 都市機能を集約して効率的な都市計画を進めてほしい● 生活インフラを整え住みやすさを向上させるコンパクトシティ化を推進してほしい	10 件
8	地域活性化と観光誘致	<ul style="list-style-type: none">● 加西市独自の観光施設を整備してほしい● 地域を盛り上げるための観光と商業融合の施策を考えてほしい	8 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- ▶ 若年層（19歳以下～39歳）
 - ・ 娯楽施設（カラオケ、映画館など）や若者向け商業施設（GU やユニクロ）の設置を求める意見が多い。
 - ・ 「娯楽の充実」や「若者同士が集まれる場の創出」を求める傾向あり。
- ▶ 中年層（40歳～59歳）
 - ・ 住宅整備や商業施設の誘致、地域間の格差解消を重視する意見が多い。
 - ・ 子育て世帯向けの店舗不足や住みやすい環境整備を求める声が強い。
- ▶ 高齢層（60歳以上～70歳以上）
 - ・ 郊外地域の交通インフラ整備や公共施設の充実を求める意見が中心。
 - ・ 「高齢者団地」「徒歩圏内にスーパーや病院を設置」など、便利な都市計画への期待が見られる。

（性別による意見の違い）

- ▶ 男性： 娯楽施設や交通インフラの整備に関する具体的な提案が多い。
- ▶ 女性： 家族や子育て世帯が利用しやすい商業施設・公共施設の整備を求める意見が多く、生活環境の充実を重視。

4 まとめ

（市政の方向性）

「都市計画・まちづくり」分野で市民が求める方向性は以下の通りです：

- ▶ 若者支援による地域活性化
娯楽施設や商業施設を誘致し、若い世代の満足度向上と定住促進を目指す。
- ▶ 交通・住環境改善で市民生活の質向上
郊外地域のインフラ整備を進めることで、地域間格差を解消する。

（市に求められる取組）

1. 娯楽施設や商業施設の整備
 - ・ 若者や家族と過ごす場の提供として映画館、ラウンドワン、飲食店の誘致。
2. 空き家・廃校の有効活用
 - ・ 地域施設への転用やイベントスペースとしての利用を促進する政策を策定。
3. コンパクトシティの推進
 - ・ 市街地中心部への都市機能集約を促進し、効率的な「持続可能な都市計画」を推進。
4. 住みやすい郊外環境の整備
 - ・ 農地を宅地化し、スーパーや病院を徒歩圏内に整備。公共交通の充実を図る。

09-2 環境

1 意見の件数

いただいた意見は 28 件 でした。

2 主な意見

1	自然環境保護・景観維持	<ul style="list-style-type: none">● 加西市の自然を守り発信してほしい● 田園風景や森林を保持することで市の魅力を高めるべき	7 件
2	太陽光パネル反対・設置場所提案	<ul style="list-style-type: none">● ソーラーパネルが増えることで自然が破壊される● 設置場所をもっと慎重に選ぶべき	6 件
3	ごみ・悪臭問題	<ul style="list-style-type: none">● ゴミを適正に処理してほしい● 養鶏場などの悪臭を改善してほしい	5 件
4	地球温暖化対策・SDGs 促進	<ul style="list-style-type: none">● 地域で温暖化対策をもっと推進してほしい● 打ち水イベントなど SDGs に取り組む活動を増やすべき	5 件
5	除草剤・環境への配慮	<ul style="list-style-type: none">● 公園や学校で除草剤の使用を控えてほしい● 除草剤の健康被害を考える環境施策を進めてほしい	3 件
6	その他（公園整備など）	<ul style="list-style-type: none">● 公園に日陰や雨宿りができる施設が欲しい● 自然を生かした公園墓地を整備してはどうか	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～39歳）

「自然の保護」や「景観維持」を重視する意見が多い。自然の美しさを発信してほしいという声がある。

▶ 中年層（40歳～59歳）

「太陽光パネル」「除草剤の使用問題」など環境保護に関する具体的な課題についての提案が多い。

▶ 高齢層（60歳以上～70歳以上）

「悪臭の改善」や「公園整備」など地域での快適さ向上を求める意見が目立つ。

（性別による意見の違い）

▶ 男性：太陽光パネルの設置場所に関する懸念や農業地域での課題（悪臭問題）への関心が上位。

▶ 女性：子どもたちの健康や生活環境安全性（除草剤問題）、SDGsやゴミ削減に積極的な意見が多い。

4 まとめ

（市政の方向性）

環境分野で市民が求めている方向性は、加西市の「自然資源の保護」と「持続可能な地域づくり」です。

具体的には以下を柱にした施策が期待されています：

▶ 自然環境の維持・発信

森林、田園風景、山などの景観を守りつつ、観光や地域振興につなげる。

▶ 温暖化対策と環境問題解決

除草剤の使用禁止や悪臭問題の改善など、市民の健康を守る政策を進める。

（市に求められる取組）

1. 自然環境の価値を発信する仕組み作り

- SNSや地域イベントを活用し、加西市の自然資源を広くPR。
- 田園風景や森林の保護活動を市民参加型で進める。

2. 環境問題への具体的対応策

- ソーラーパネル設置に関する詳細なガイドライン策定。
- 農業地域特有の悪臭改善策や、除草剤禁止区域の指定などを進める。

3. SDGs及び持続可能な地域づくり

- 温暖化対策として打ち水イベントなど、地域全体で参加できる取り組みを恒例化する。
- ゴミ削減を目指し、補助対象の生ゴミ処理機の拡充を検討する。

10 生活インフラ

1 意見の件数

いただいた意見は 52 件 でした。

2 主な意見

1	道路整備の改善	<ul style="list-style-type: none">● 道路が狭く整備されていない● 県道の舗装が悪すぎてストレスを感じている● 通勤時間帯の混雑解消のため右折専用レーンや拡幅をしてほしい	15 件
2	歩道・自転車道の整備	<ul style="list-style-type: none">● 歩道がない道路が多く危ない● 子供が安心して自転車に乗れる歩道の整備を求む● 歩道の草刈りを頻繁に行い交通の安全性を確保してほしい	10 件
3	水道料金の高値改善	<ul style="list-style-type: none">● 加西市の水道料金が他市と比べて高すぎる● 生活必需品である水道料金は平等に補助してほしい● 水道料の再検討をお願いします	7 件
4	交通インフラの改善	<ul style="list-style-type: none">● 姫路、明石へのバイパスを整備し通勤利便性を向上して欲しい● 交通の利便性向上がないと若者が定住しない● 国道整備でアクセスを向上してほしい	7 件
5	草刈りや環境美化の強化	<ul style="list-style-type: none">● 道路沿いの草刈りを頻繁に行ってほしい● 歩道や道路の美化が加西市の田園風景の維持にもつながる● 市道の草刈り支援を高齢者向けに強化してほしい	6 件
6	公共料金補助の拡充	<ul style="list-style-type: none">● 物価高で生活苦、公共料金の補助拡充を検討してください● 自治体が生活インフラ料金を軽減する仕組みを作るべき	4 件
7	バリアフリー化の対応	<ul style="list-style-type: none">● 歩道をバリアフリー化してほしい● 段差の解消をして交通事故を防いで欲しい● 通学路の安全性向上にバリアフリー化が必要だと感じる	3 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～39歳）

主に通学路の安全性や、自転車・歩道整備を求める意見が多い。子供のためのインフラ改善を希望する声が目立つ。

▶ 中年層（40歳～59歳）

道路整備や交通インフラの改善に関心を持っている。家庭や仕事の負担軽減を目的とした意見が見られる。

▶ 高齢層（60歳以上～70歳以上）

草刈りや水道料金の補助を含む生活需要の具体的改善を求める意見が多く、現状維持の難しさに懸念を示している。

（性別による意見の違い）

▶ 男性：交通インフラ改善や道路整備に関する具体的かつ実務的な提言が多い。

▶ 女性：歩道や子育て環境の安全性、公共料金補助など生活に密着した意見が多い。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 市民の意見から、「生活の利便性向上」や「安全で安心なインフラ整備」が市政の方向性として求められています。特に、通勤・通学環境を改善し若者や子育て世代が定住しやすくする施策が重要とされています。

（市に求められる取組）

1. 道路・歩道・自転車道の整備

- 道路拡幅や右折専用車線の設置を進め、混雑解消を図る。
- 歩道や通学路の草刈りを頻繁に行い、自転車道やバリアフリー化を拡充して交通安全性を向上させる。

2. 生活インフラ費用への配慮

- 水道料金や公共料金に補助を導入し、市民の負担軽減を図る。物価高の現状に沿った支援施策が必要。

3. 交通インフラの改善

- 都市間バイパスの整備や交通利便性向上で加西市の魅力づくりを進める。

4. 地域環境美化の継続と強化

- 草刈りや街路樹の剪定頻度を増やし、田園風景を維持することで地域の価値向上につなげる。

10-2 交通

1 意見の件数

いただいた意見は 112 件 でした。

2 主な意見

1	公共交通機関の充実	<ul style="list-style-type: none">● 北条鉄道やバスの本数を増やしてほしい● 電車やバスをもっと利用しやすい形にして欲しい● 交通系 IC カードが使えるようにしてほしい	35 件
2	高齢者の移動支援	<ul style="list-style-type: none">● 免許返納後、高齢者が安心して移動できる交通手段を整備してほしい● コミュニティバスのルートと便数を増やして欲しい● 安価な移動手段を提供してほしい	25 件
3	交通費の負担軽減	<ul style="list-style-type: none">● 北条鉄道やバスの料金が高いので見直しをしてほしい● 高齢者割引や学生支援を導入してほしい● 移動手段が無いと生活が難しい人への援助が必要	16 件
4	市外アクセスの向上	<ul style="list-style-type: none">● 姫路や神戸への交通アクセスを改善してほしい● 加古川や大阪への直通バスを増便してほしい● 高速バスの運行時間を延長してほしい	14 件
5	地域交通の増便・改善	<ul style="list-style-type: none">● ねっぴーバスの運行ルートを増やしてほしい● 小型バスやワゴン車で頻繁に都市間移動ができるようにしてほしい● 土日や夜間のバス運行をさらに増やしてほしい	12 件
6	商業・医療アクセスの改善	<ul style="list-style-type: none">● 病院や買い物に行くための交通手段を整備して欲しい● 住民がもっと気軽に医療施設やスーパーに行けるような取り組みを進めるべき	10 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（10代～30代）：

主に「学生支援のための交通費削減」「北条鉄道の利便性向上」を求める意見が多く、交通手段不足が生活に影響していると訴えています。

▶ 中年層（40代～50代）：

「市外アクセスを改善することで通勤利便性向上」や「将来の生活を見据えた交通インフラの整備」を希望する意見が多いです。

▶ 高齢者（60代～70歳以上）：

「免許返納後の安心した移動手段確保」「安価で利用できる公共交通の増便」など、生活の足としての交通手段確保を強く求めています。

（性別による意見の違い）

▶ 男性：実務的な要望（通勤や公共交通整備など）が多く見られます。

▶ 女性：「買い物や医療施設へのアクセス改善」など、生活に密着した交通整備の希望が目立ちます。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 交通インフラの充実が命題であり、市民は安全で移動しやすい環境、特に高齢者や子育て世代にやさしい都市環境を求めています。市外へのアクセス改善も市の競争力向上には不可欠です。

（市に求められる取組）

1. 公共交通機関の拡充

- 北条鉄道やねっぴーバスの本数増加や路線拡張を進め、市内外の移動を便利にする。
- 交通系 IC カードの導入で利便性を向上させる。

2. 高齢者・学生支援の強化

- 高齢者向けの安価なコミュニティバスや予約型移動サービスの提供。
- 学生向けの交通費補助や運行の利便性向上。

3. 市外アクセス改善

- 姫路、加古川、大阪への直通バス増便や高速バス運行時間の拡充。
- 都市間交通インフラの整備を図り、観光や都市間移動を活性化。

11 市民参画、地域コミュニティ

1 意見の件数

いただいた意見は 46 件 でした。

2 主な意見

1	地域コミュニティへの負担軽減	<ul style="list-style-type: none">● 草刈りなどの負担を減らしてほしい● ペーパーレス化による広報の効率化● 役員就任や地域行事の負担が重い	8 件
2	若者・子育て世帯の参加促進と支援	<ul style="list-style-type: none">● 若者がまちづくりに参加する施策の導入● 子どもを地域で大切に育てる活動を推進● 子育て家庭への負担軽減策を求む	7 件
3	地域の多世代交流と人材活用	<ul style="list-style-type: none">● シルバー人材を活用した地域活動の支援● 高齢者の知識や技術を生かせる地域活動● 異世代交流を通じた社会の活性化	6 件
4	地域行事のあり方・祭りの文化継承	<ul style="list-style-type: none">● 地域行事が負担になっている現状を見直し● 「祭りなど文化の継承」には積極参加を希望● 地域住民参加型の祭りの推進を期待	6 件
5	地域住民との繋がり の希薄化防止	<ul style="list-style-type: none">● 近隣住民との関わりを深めてほしい● 人と人が助け合える社会を実現してほしい● 隣人との繋がりを築ける街づくりを期待	6 件
6	ボランティア活動の 充実	<ul style="list-style-type: none">● 地域と繋がるボランティア活動への参加希望● ボランティアを通じたコミュニティづくり● ボランティア活動が充実したまちだと良い	5 件
7	自治会・行政の効率 的運営	<ul style="list-style-type: none">● 祭りや清掃活動費を効率化する提案● 地域活動への強制参加には否定的● 役員選出など自治会負担軽減を求む	4 件
8	持続可能な地域社会 の構築	<ul style="list-style-type: none">● 人口減少社会でも人が繋がるまちづくり● 地域の未来を考える教育システムの導入● 地域の知恵を活用した政策を期待	3 件
9	平等で公平な市民参 画	<ul style="list-style-type: none">● 市民の意見を公平に反映した市政運営を求む	1 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- ▶ 若年層（19歳以下）：地域のボランティア活動や繋がりを好意的に感じているが、地元行事や祭りへの積極的参加を求める傾向。
- ▶ 子育て世帯（30～49歳）：子育て支援や若者参加の促進を重視し、地域活動における負担軽減を訴える意見が多い。
- ▶ 高齢層（50歳以上）：自治会や地域活動の効率化のほか、多世代間の交流、そしてコミュニティの維持に対する提案がみられる。

（性別による意見の違い）

- ▶ 男性と女性による意見に大きな違いは見られませんが、女性は地域活動の効率化や柔軟性を求める意見がやや多く、男性はボランティアや繋がりへの肯定的な意見がやや多い傾向があります。

4 まとめ

（市政の方向性）

- ▶ 地域コミュニティの維持を重要視しつつ、負担軽減や効率的な運営を目指すべき。
- ▶ 若者・子育て世帯の地域参画を促し、次世代へ繋げる社会の持続可能な仕組みづくりを進める。
- ▶ シルバー人材やボランティアを活用した多世代交流を重視した政策を推進する。

（市に求められる取組）

1. 地域負担軽減策：自治会活動やイベント運営の効率化（ペーパーレス化、外部委託など）。
2. 若者と子育て世帯の支援拡充：公園整備、子育て支援や地域イベント参加促進策。
3. 多世代交流促進：高齢者の知識や技術を活用した地域活動の創設。
4. 住民との繋がり強化：人と人との関わりを形成できる、柔軟なコミュニティ運営の提案。

11-2 情報発信、広報・広聴

1 意見の件数

いただいた意見は 48 件 でした。

2 主な意見

1	加西市の魅力の発信	<ul style="list-style-type: none">● 加西市の良さを SNS で発信すべき● 地域の文化的財産をもっと PR してほしい● 加西市でお金を使ってもらうための広報が必要	12 件
2	若者や住民の声を取り入れる工夫	<ul style="list-style-type: none">● 若者の意見をもっと集めて反映してもらいたい● 意見交流の場を増やしてほしい● 個別の意見をもっと取り入れてほしい	10 件
3	情報発信方法の改善	<ul style="list-style-type: none">● 市政の内容をもっと分かりやすく配信してほしい● 広報が届かない家庭がある● アンケート結果を公表してほしい	9 件
4	タウンミーティングの改善	<ul style="list-style-type: none">● タウンミーティングが報告の場になっている● 記名の必要性を見直し意見を言いやすい環境にするべき● 規模を小さくし気軽に意見交流ができる場を希望	6 件
5	市政の情報公開	<ul style="list-style-type: none">● 市民が市政の方針をもっと理解できる情報を発信● もっと公開を進めてほしい● 住民の意識に寄り添った行政を目指してほしい	5 件
6	多様な人材の採用による情報発信力強化	<ul style="list-style-type: none">● 広報力に長けた多様な人材を採用してほしい● 若い世代や女性の視点を取り入れてほしい	3 件
7	加西市の良い点を住民が自然に発信	<ul style="list-style-type: none">● 住民自身が発信できる環境を作してほしい● 隣の芝生を比べるのではなく加西の良さを市民が広めるべき	3 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

- ▶ 若年層（19歳以下～29歳）
SNS やアピール施策への関心が高く、加西市の認知度向上に注力すべきとの意見が多数。
- ▶ 中年層（30歳～49歳）
若者意見の反映や情報共有方法への改善を強調。子育て世代視点での広報改善案が目立つ。
- ▶ 高齢層（50歳以上）
タウンミーティングの改善や市政方針の情報公開への意見が中心。記名意見に関する懸念が顕著。

（性別による意見の違い）

- ▶ 女性は特に住みやすさを発信する方法や子育て世代への情報発信環境整備を重視。一方で、男性は加西市の魅力を外へ発信する施策や広報方法の効率性に関する意見に集中していました。

4 まとめ

（市政の方向性）

- ▶ 加西市の魅力を外部に発信し、多くの人々に認知してもらう取り組みが必要。
- ▶ 若者や住民の声に耳を傾け、市政や情報発信への反映を図る仕組みを強化すべき。

（市に求められる取組）

1. 加西市の魅力発信施策
SNS やデジタル技術を活用し、文化財や地域特産品を PR する広報活動の強化。住民にも「加西市の良さ」を自然に発信できる環境作りを促進。
2. 住民参加型情報発信プロジェクトの創設
若者や子育て世代を含む住民の意見を取り入れる仕組みを導入し、市政の透明性を向上。
3. 広報手段の見直しと改善
配信されない家庭や世代差による情報格差を埋める取り組み。また記名不要な意見交換の場やタウンミーティングの質向上なども必要。
4. 広報人材の多様化
多様な職種や経験者を広報チームに加えることで、市内外への情報発信力を強化する。

12 多様性社会

1 意見の件数

いただいた意見は 58 件 でした。

2 主な意見

1	外国人との共生・対応	<ul style="list-style-type: none">● 外国籍の子が増えすぎて対応が困難● 外国人の犯罪への懸念● 外国人の増加で市の治安が悪化しないような制限を検討してほしい	12 件
2	地域の閉鎖性・排他性	<ul style="list-style-type: none">● 昭和的な雰囲気や排他的な地域コミュニティを改善すべき● 外部の人の意見をもっと取り入れるべき● 閉鎖感を減らし若者が活躍できる町にするべき	11 件
3	多様性への配慮	<ul style="list-style-type: none">● 全ての市民が平等に扱われる市政を目指してほしい● 子供、高齢者、障害者、外国人も偏りなく支援してほしい● みんながいきいき生活できる市を	10 件
4	高齢者や女性の活躍推進	<ul style="list-style-type: none">● 各町で女性目線の意見を反映させる役員ポストを設置● 高齢者も活躍できる社会、まちづくりが求められる● 若者や女性の意見をもっと聞いてほしい	8 件
5	子育て・ひとり親環境の整備	<ul style="list-style-type: none">● ひとり親への支援やサービス環境をもっと整備すべき● 若い世代が住みたいと思えるような子育て支援を進めてほしい	6 件
6	伝統行事の自由参加化	<ul style="list-style-type: none">● 伝統行事の強制参加をやめるべき● やりたくない人に無理に押し付けることで町が衰退する可能性がある● 自由参加型の文化継承の仕組みを願う	4 件
7	言葉の壁問題	<ul style="list-style-type: none">● 外国人の医療機関受診時の通訳対応を充実してほしい● 言葉の壁があるせいで外国人にはわからないことが多すぎる● 外国人との共生を容易にする工夫を	3 件
8	賃金格差解消	<ul style="list-style-type: none">● 男女間の賃金格差を無くし、子育て中の対応が整った環境を作してほしい● 既婚者と独身者の区別なく公平に扱われるような市を目指してほしい	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～29歳）

閉鎖的な地域性や若者の意見を取り入れるべき、SNSや新しい仕組み導入が求められる意見が多い。

▶ 中年層（30歳～49歳）

子育て支援や女性の役割拡充が中心。地域コミュニティの排他性や伝統行事改革についても関心が高い。

▶ 高齢層（50歳以上）

外国人との共生問題や治安の改善、高齢者自身の活躍推進を求める意見が主体。

（性別による意見の違い）

▶ 女性は特にひとり親支援や子育て環境整備に関する要望が多い傾向。一方、男性は地域の閉鎖性問題や外国人共生における懸念事項を挙げる意見が多かった。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 若者や外国人など、多様な人々が活躍できる環境を作ることが急務。特に外国人との共生を円滑にする仕組みと対応策が必要。

▶ 地域の閉鎖的な風土や古い慣習を少しずつ緩和し、新しい価値観を取り入れることで、すべての市民が暮らしやすい環境を目指す。

（市に求められる取組）

1. 外国人との共生支援

言葉の壁を越えるための通訳サービス提供、共生リソースの整備、治安維持の取り組みの強化。

2. 閉鎖的地域コミュニティの改善

地域コミュニティ改革の促進、新しい意見や仕組みを取り入れる機会の拡充。

3. 多様性の尊重と公平な市政

高齢者、女性、若者、障害者、外国人を分け隔てなく支援する政策の推進。

4. 子育て支援の充実

ひとり親家庭への拡充施策、新しい世代が住みたくなる環境整備を具体化する。

5. 伝統行事の改革

自由参加型の文化継承を目指し、負担感なく地域に貢献できる仕組み作りを検討する。

13 財政運営、施設整備

1. 意見の件数

意見は 154 件 でした。

2 主な意見

1	箱物行政批判	<ul style="list-style-type: none">● 税金の無駄遣いで箱物ばかり建てるのは腹立たしい● 新庁舎や競技場は不要、既存施設を改修すべき	42 件
2	既存施設の有効活用 要求	<ul style="list-style-type: none">● 空いた校舎を介護や子育て支援施設に利用してほしい● 閉鎖された公共施設を再利用したほうが良い	33 件
3	財政健全化・税金の透 明化	<ul style="list-style-type: none">● 無駄遣いを減らし財政を健全化してほしい● ふるさと納税を市民に還元してほしい	28 件
4	子育て支援・若者への 投資希望	<ul style="list-style-type: none">● 子育て環境をもっと良くしてほしい● 若者が加西市に戻りたいと思える町にしてほしい	21 件
5	高齢者支援充実	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者が住みやすい交通手段を整備してほしい● 介護施設が不足している	10 件
6	医療施設への批判・提 案	<ul style="list-style-type: none">● 医師不足の解消を最優先すべき● 新病院建設の費用対効果は疑問	9 件
7	インフラ整備要望	<ul style="list-style-type: none">● 街灯をもっと作ってほしい● 災害避難所として体育館の整備を優先すべき	6 件
8	公共投資における優 先順位批判	<ul style="list-style-type: none">● スポーツ施設より地域の安全性を考えて予算を使ってほしい● 必要性を丁寧に考えた上で整備してほしい	4 件
9	意思決定プロセスの 見直し要望	<ul style="list-style-type: none">● 市民の意見を吸い上げた意思決定をしてほしい	1 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

➤ 若年層（～39歳）

子育て支援や若者定住に関する意見が多く、「未来への投資」を訴える声強い傾向。

➤ 中高年層（40歳～）

無駄な箱物建設への批判や財政健全化への関心が高い。特に「維持管理費の負担」や「税金の透明性」を求める意見が目立つ。

（性別による意見の違い）

➤ 性別の違いは特段見られませんでした。

4 まとめ

（市政の方向性）

➤ 箱物行政の見直し

市民ニーズに基づき現存施設を最大限活用し、無駄な建設を減らすことで財政健全化を図るべき。

➤ 長期的な視点で投資を計画

短期的な建設ではなく、維持管理費も含めた長期的な採算を検討する必要がある。

（市に求められる取組）

1. 市民の声を反映した意思決定プロセスの構築

アンケート結果を基に優先課題を整理し、それを議会や施策に反映する仕組みを強化。

2. 世代を超えたバランスの取れた政策の実施

子育て支援と高齢者支援の両面を大切に、すべての世代にとって住みやすい都市づくりが求められる。

3. 財源の透明性向上

市民が納得できる税金使用の説明と定期的な報告を行い、信頼関係を構築する。

13-2 デジタル活用

1 意見の件数

いただいた意見は 32 件 でした。

2 主な意見

1	デジタル化の推進と 利便性強化	<ul style="list-style-type: none">● 戸籍謄本などの証明書をコンビニ発行可能に● 行政手続きや納税のデジタル化の推進● 市内での無料 Wi-Fi 化を進めてほしい	8 件
2	高齢者への配慮とデ ジタル化支援	<ul style="list-style-type: none">● 高齢者世帯にわかりやすいデジタル化を● デジタル化に対応できない高齢者を置き去りにしない策を 取り入れるべき● 老夫婦世帯の不安を減らしてほしい	7 件
3	アナログとデジタル の共存	<ul style="list-style-type: none">● アナログとデジタルの両立から進めるべき● 紙ベースでの選択肢も検討してほしい● デジタル化が不向きな場合は柔軟に対応してほしい	6 件
4	スマホ・アプリ対応 の見直し	<ul style="list-style-type: none">● 健幸アプリや子育てアプリが使いにくい● アプリ利用を促すスマホ機種変更推奨は負担が大きい● もう少し気軽に簡単な取り組みにしてほしい	5 件
5	村社会や地域の仕組 みのデジタル化	<ul style="list-style-type: none">● 村の放送などのアナログな仕組みをデジタル化すべき● 地域への負担を減らしデジタル化を進めたい● 地域の改善に市が支援をもっと行ってほしい	4 件
6	デジタル化の悪影響 に対する懸念	<ul style="list-style-type: none">● 無理に進めると負担が増える世代が出る● 現状の施策で矛盾している点を解消してほしい	2 件

3 属性（年齢・性別）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～30歳代）

デジタル化に肯定的な意見が多く、利便性・効率性の強化を求める傾向が見られる。アプリやWi-Fi化などの技術活用への期待が強い。

▶ 中高年層（40～60歳代）

高齢世代やデジタル不慣れな層への配慮を求める声が目立つ。アナログとの共存や簡易化への意見が多い。

▶ 高齢層（70歳以上）

全てデジタル化することへの懸念や置き去りにされる不安が顕著。地域内のコミュニケーションや情報伝達方法の改善希望が強い。

（性別による意見の違い）

- ▶ 性別による意見には大きな違いは見られませんでした。ただし、一部女性回答者は子育て世代が負担を抱えないデジタル活用やアプリの使いやすさ改善に関心を示しています。

4 まとめ

（市政の方向性）

- ▶ デジタル化を推進する一方で、市民一人ひとりが利便性を享受できる包括的な取り組みが必要。デジタル化が進む中で影響を受ける世代に配慮し、柔軟な施策を導入することで、若者から高齢者までが住みやすい環境を実現できる。

（市に求められる取組）

1. 行政サービスのデジタル化推進と簡易化

戸籍謄本や納税手続きのデジタル対応を早急に進める。また、簡単で効率的なシステム設計を取り入れ、特定層へのデジタル化負担を軽減する。

2. アナログとデジタルの共存モデルの構築

高齢者やデジタル不慣れ層が利用可能なアナログ対応と、若年層に向けたデジタル施策を並行して運用する仕組みを設計する。

3. 地域改善のデジタル化支援

村社会や地域の情報伝達方法にデジタル技術を活用し、地域負担を減らしつつ効率的な運営体制を構築する。

4. 高齢者への支援強化

高齢者向けの研修やサポート体制を充実させ、デジタル化への適応を促進する。置き去りにされている層への対応は重要課題として継続的に検討する。

99 その他

1 意見の件数

いただいた意見は 82 件 でした。

2 主な意見

1	定住促進と若者・人口増への取り組み	<ul style="list-style-type: none">● 若者が加西に帰ってくれる市に● 外部からの人口流入が必要● 次世代が住みたいと思う街づくり	18 件
2	市政の透明性・議会の改革	<ul style="list-style-type: none">● 市議会議員の数を減らすべき● 公務員としての資質に疑問● 議員給与の見直しが必要	16 件
3	暮らしやすさ・安心の向上	<ul style="list-style-type: none">● 誰もが安心して暮らせるまち● 住民に負担をかけない行政● 穏やかに暮らせる環境であってほしい	14 件
4	子育て世代への配慮と支援	<ul style="list-style-type: none">● 子育て支援に感謝● 子供たちが喜ぶ施策を● 電気代や物価への支援が必要	12 件
5	地域活性化と魅力発信	<ul style="list-style-type: none">● 加西市の魅力を伝える努力を● 大きな起爆剤的取り組みが必要● 田舎の良さを生かし新しい価値を生むまちづくり	8 件
6	市役所や議員の対応改善	<ul style="list-style-type: none">● 市職員の接遇改善が必要● 市民に迅速な対応を● お役所仕事にしないように	7 件
7	過度な物価上昇への対応	<ul style="list-style-type: none">● 物価高騰による公共料金への助成● ガソリン料金の支援が必要● 経済的負担を軽減してほしい	5 件
8	シニアや弱者への配慮	<ul style="list-style-type: none">● アンケート字が小さくて読めない● 高齢問題への配慮	2 件

3 属性（性別、年齢）による意見の違い

（年齢による意見の違い）

▶ 若年層（19歳以下～30歳代）

若者や子育て世代が暮らしやすい街を求める意見が多く、次世代への関心が強い。定住や地域活性化への期待が顕著。

▶ 中高年層（40～60歳代）

議会改革や公務員の資質に疑問を持ち、行政の効率性と住民への公平性の向上を求める声が見られる。

▶ 高齢層（70歳以上）

暮らしやすさや安心できる環境の維持を要望。シニア世代への配慮を求める意見が一部で見られる。

（性別による意見の違い）

▶ 性別による意見には大きな違いは見られませんでした。アンケートにおいて女性は子育て支援・暮らしやすさに関する具体的な提案を行う傾向が見られました。

4 まとめ

（市政の方向性）

▶ 加西市が持続的に発展するためには、人口増を可能にする魅力的で安心な街づくりが必要。また、議員や職員が市民の声に真摯に向き合い、市政の透明性や市民サービスの向上を図るべき。定住促進が街の活力を支える重要な要素となる。

（市に求められる取組）

1. 若者定住促進策

若者や子育て世代が「帰りたい」「住みたい」と思える環境整備を行い、人口増加と地域活性につなげる。

2. 市政改革と透明性

議員数や給与、職員の対応の質など、公務運営の効率化と改善を通じ、市民の声をより反映する市政を目指す。

3. 暮らしの安心確保

暮らしに負担をかけない行政を進めるとともに、経済的支援を通して物価上昇への対応を行う。

4. 市の魅力の発信と支援強化

地域資源を最大限に生かし、定住者や移住者が誇れる街となるような施策を拡充する。